
合理的に穴を掘る

朝昼夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

合理的に穴を掘る

【Nコード】

N7273L

【作者名】

朝昼夜

【あらすじ】

あらすじを書くほどの長さでもありません。すみません。

人が居る。

そこだけでは無い。闇夜だけにでは無い。朝日が昇りあがって、人々を照らし上げる時に、彼らもまた呼応するかのように、朝日を眺めてからベットを飛び降りる。

床に足を着けて、朱色に染まる体と部屋。今日が始まったのだと私たちは嘆きもせず喜びもしない。ただただ、それが生きているということだ。

そういう風になったのは何時からだろうか。小さい時だろうか。大きくなってからだろうか。ただただ、朝日が昇りあがって、やがて夜闇が、私たちを優しく包み込んでくれます。それなのに、私たちはそのことについて、何か考えたりはしない。嘆きもせず、喜びもしない。

その人間も、そういう風にして、嘆きも喜びもしないで生きていた。生きていると言っているのか、まったく持って怪しい。だけれど毎日毎日、同じことを繰り返している。

穴を掘って、掘って、掘れなくなったら、別の所を掘る。掘る所がなくなってしまうたら、自分のを埋めてから、また掘る。そんな自虐的なことに耐えられなければ、他の人が掘った所を埋めてから、掘る。掘る、掘る。

それで喜びもせず嘆きもせず、だが、生きていた。呼吸をしている。たまに掘ることについて向こうから喧嘩を売られる時もあるが、その人はただ喚いているだけだった。

そうして、鉄のシャベルと銀のシャベルで、私たちはカチカチと争いあって、シャベルを折り砕いてから、殴り合った。痛かったし、骨も何箇所か折れたし、体のどこかが破損した。掘った穴だって、嫌がらせで埋められてしまった。

だけれど、喧嘩してお互い疲れ果てたその時の、瞳。瞳は同じ色をしていた。その時だけだったけれども、同じ色の瞳は、疲労を訴えあっていて、いつしか共感に変わった。別の人間同士なのに、同じ人間同士であるかのような、気分になんた。

手を取り合う。両手を、繋ぎあう。

片方の手はゴツゴツとしていて、もう片方の手は華奢だった。二人はその時、改めてお互いが別の存在であることを思い出した。笑い合いながら、二人はやがて、お互いの手を放し合った。

二人は協力して穴を掘ることにした。お互いの住処を分け合ってお互いの持ち物を分け合って、力をあわせた。力を合わせて穴を掘ったり埋めたりした。そうする内に、別の人たちも協力し合っていることに気が付いた。その人たちは二人ではなく、五人だった。

その五人たちは凶悪そうな面構えだったから、二人は身の危険と穴を埋められる危険、二つの危険を感じた。どうしようか、と相談している内に、凶暴そうな五人は近寄ってきて、『一緒に穴を掘りませんか』と似合わない笑顔を作った。他の四人も似合わない笑顔を作っていたが、見方を変えれば可愛らしくもあった。

二人は、安心した。安心して『はい、いいですよ』と二人で声を合わせた。

七人で穴を掘ったり埋めたりした。七人は、大人数なのだから、もっと面白いことをしよう、と言って、掘った穴で模様を形作った。それは、とっても、芸術的だった。

ある日、五十人が、七人の目の前に現れた。彼らは全員、金のシヤベルを持っていた。彼らは口を揃えて『合理的』という言葉を唱えて、芸術的な穴を批判した。そうして、芸術的な穴は閉じられてしまい、ひたすらに『合理的』な穴の掘り方を教授してみせた。七人の内の半分以上がその『合理的』の魅力に取り付かれ、せっせと五十人の言い分を聞くようになった。そうこうする内に『合理的』は伝播して、七人全員が合理的に生きた。

夢から目を覚ました。

床に足を着けて、朱色に染まる体と部屋。今日が始まったのだと私たちは嘆きもせず喜びもしない。ただただ、それが生きているということだ。

そういう風になったのは何時からだろうか。小さい時だろうか。大きくなってからだろうか。ただただ、朝日が昇りあがって、やがて夜闇が、私たちを優しく包み込んでくれます。それなのに、私たちはそのことについて、何か考えたりはしない。嘆きもせず、喜びもしない。

それで、いいじゃないか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7273/>

合理的に穴を掘る

2010年10月15日05時37分発行